

あとこれ

41

65周年記念 特集号
 発行:跡見校友会 桃李の会
 〒112-8629
 東京都文京区大塚1-5-9
 TEL 03(3941)2742
 FAX 03(3941)2587
 E-mail : tohri-kai@atomi.ac.jp

ごきげんよう

幹事長 萬葉 洋子



卒業生の皆様お変わりなくお健やかに過ごしていること存じます。

今年はおかねてより計画しておりました、桃李の会六十五周年記念同窓会を、八月二十三日ホテルニューオータニ「鳳凰の間」にて開催いたしました模様を特集した記念号をお送りいたします。当日出席された方はもとより出来なかつた方も是非当日の臨場感を味わっていただきたいと思っております。

理事長山崎一穎先生をはじめ、御年九十二才になられました跡見純弘先生、山田徹雄女子大学学長、大塚博副学長、堀雅裕事務局長そして、後援会会長、各校校友会幹事長の皆様にご来賓いただきました。

卒業生の方々は北は北海道、南はハワイ、沖縄と総勢二百五十名の出席者となりました。世界チャンピオンの平田様による氷の彫刻や、会からの心ばかりの品の福引でお楽しみいただきました。庄巻は旧マンドリンクラブのOGが結成している「紫音会アンサンブル」の生演奏です。マンドリンの音色に耳を傾け学生時代に思いを馳せ、当時流行ったなつかしい曲目に思わずご来賓の先生方もハミングする微笑ましい光景を目のあたりに出来ました。わずかに二年間ですが同じ学び舎ですごした同窓生がひとつの空間を共有し日常から解放され楽しい有意義な時間を持ち明日への力がわいたと信じ、私達幹事も皆様の笑顔に力づけられた思いです。

これも学祖、跡見花蹊先生よりいただいた会名「桃李の会」のおかげであり、桃李の名のもとに人々が集まりその下には自然と道が出来るとかたく信じ、今後も出来る限り進んで行くことを心に決めました。

理事長ご挨拶

理事長 山崎一穎



桃李の会創立六十五周年おめでとうございます。この周年行事

を準備してこられました萬葉洋子幹事長とする本部役員のみなさま方、また支部長さんをはじめとする支部幹事のみなさま方のご尽力に感謝申し上げます。

戦後の女子教育の多くは、短期大学が担ってきました。跡見学園の教育も短期大学が高等教育の前期課程を担い、二万余の卒業生を社会へ送り出してきました。改めて卒業生のご活躍に敬意を表します。

この会は初め「短大卒業生の会」と言っており、平成になって「桃李の会」と改称したと思っております。私はこの桃李の会の名称こそ、学祖跡見花蹊先生の「花蹊」の雅号の典故となった中国の古典「史記」の「桃李も言わざれども下自ら蹊を成す」を踏まえた名称であり、いい名だと思っております。改称当時大学に勤めていた私などは、跡見の正統性を主張する名であり、してやられたという思いを抱いたものです。卒業生のみなさん、この名称に誇りを持ち、ご活躍を期待しております。

最後に短期大学の先生方の動静についてご報告いたします。現在大学で教育研究にあたりております。特に文科国文の大塚博先生は副学長として、同科の小仲信孝先生は文学部長として、家政科の村田あが先生は学務部長として、同科の石渡尚子先生は就職部長として大学の運営を担っております。

ご参集のみなさま方のご多幸を祈念いたします。おめでとございしました。



理事長 山崎一穎先生

東海支部会様より

大学副学長 大塚博先生

関西支部会様より

紫音会アンサンブル様より

大学学長 山田徹雄先生

(株)フロンティアクリエーション様より

後列左より 幹事長 福江絢子様
 泉会幹事長 松浦仁子様
 一葉会幹事長 大塚和子様
 後援会会長 江口荘様
 校友会会長 山下陽枝様
 事務局長 堀雅裕様

前列左 前列右

顧問 跡見純弘先生